

## 第3回吹田市市民自治推進委員会 会議録

### 1 日時

令和6年(2024年)3月19日(火)午前10時から午前11時30分まで

### 2 場所

吹田市役所 高層棟3階 危機管理センター リエゾンルーム

### 3 出席者

#### (1) 委員

奥谷 義信、河野 路利、雑部 麻美、高原 新、西田 宗尚

#### (2) 事務局

市民自治推進室 長井室長、田家参事、加樂主幹、廣澤主査、矢野主査

### 4 傍聴者

1名

### 5 議題

(1) 吹田市市民自治講演会の報告について

(2) ICTを活用した市民参画及び地域コミュニティの活性化について

### 6 議事の要旨

別紙「議事のまとめ」のとおり

## 議事のまとめ

発言者	主な内容
A 委員	それでは委員会を開催いたします。本日は、委員長・副委員長が急遽欠席となりましたので、私が議事の進行を務めさせていただきます。次第に従いまして、吹田市市民自治講演会の報告について、事務局から説明を受けたいと思います。
事務局	(資料説明)
A 委員	それでは、講演会の内容・アンケート、次回の講演会の内容について、御意見のある方は、発言をお願いします。
B 委員	市民自治を理解するのは難しいと思いました。自治会等において、一番大きい問題は個人差だと思えます。講演会のお話は、こんなやり方もあるのか、とてもいいなど思いましたが、いざ、自分が地元でうまく説明できるのか、規模も違うので地元の方がついてきてくれるかが心配です。
C 委員	講演会に参加される方は、市民自治に関心がある方が中心だと思うので、アンケートの日常的に市民自治に関する活動の問いに対して、特に活動はしていないと答えた方が意外と多いのが興味深かったです。講演会の規模を大きくしてもよいのでは、と思いました。
事務局	講演会の規模については、当初はもう少し広い会場で開催予定でしたが、急遽、会場が変更となり、予定よりも定員が少なくなりました。また、B 委員の御意見については、市民自治や市民参画、協働について、市民自治推進委員会で議論していただき、市職員や市民の方に広めていくのが、市民自治推進室の役割だと考えています。自治会加入率が下がっていく中で、地域コミュニティの醸成をしていく仕組みづくりが必要になってくると考えています。
D 委員	講演会は、とても勉強になりましたが、自分で今何ができるのかということが、正直、まだ手探りの状態で、いろいろお聞きしながら自分の中に落とし込んでいければと考えています。
E 委員	講演会の内容は、自分の想定していた内容とぴったりだったので、とてもよかったです。シンポジウムのような大きな規模では、勉強して終わりになってしまうので、その後に、ワークショップのような、実につなげる機会も必要かと思えます。次回の講演会については、成功事例だけではなく、0(ゼロ)から1(イチ)にするところの大変さを具体的に聞きたいです。
A 委員	講演会で勉強したことを、自治会の加入促進にどうつなげていくのかということ市職員や自治会の方が一緒に考えていくべきだと思います。また、市職員が自治基本条例を意識して業務を行うのは、よほど熱心な方じゃないと難しいと思います。
事務局	市職員につきましては、前期の市民自治推進委員会で自治基本条例のダイジェスト版を作成し、周知しました。また、パブリックコメントや市民参画については、自治基本条例に基づくものであることを折に触れて説明しています。
A 委員	それでは、他に御意見がないようなので、次に、ICT を活用した市民参画及び地域コミュニティの活性化について、事務局から説明を受けたいと思います。よろしくをお願いします。
事務局	(愛知県豊川市への視察資料説明) <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊川市と吹田市との人口、世帯数、自治会数、加入率、連合自治会数等の比較</li> <li>・自治会アプリ「結ネット」の導入、活用状況</li> </ul>

	・豊川市での地域コミュニティ ICT 活用促進事業補助金 等
A 委員	それでは、自治会の DX 化推進のための自治会アプリ導入活用状況を愛知県豊川市へ視察に行かれた件について、御意見のある方は、発言をお願いします。
E 委員	テーマごとのボランティア活動が地域で増えている中で、そういった多様性を認めつつ、基盤としての自治会の加入率を上げて、自治会を持続可能にするために、自治会アプリ導入活用ということですか。
事務局	おっしゃるとおり、市民自治推進委員会や決算常任委員会での提言を受けた、自治会活性化等の支援策の一つの例です。
D 委員	ICT 化は、メリットが多いと思いますが、デバイス関係でかなり苦慮されると思います。そのあたりの事例があれば教えてください。
事務局	今回の自治会アプリについては、スマートフォンさえ持っていれば導入できるものになっています。メリットについては、ホームページで大体わかりますが、デメリットや苦勞したことについて豊川市でお聞きしました。
C 委員	豊川市は、連合自治会の数は吹田市とほとんど同じですが、吹田市より少ない町内会から一つの連合自治会が構成され、密となっていると感じました。また、紙ベースをデジタル化するだけなら、厳密に言えば、ただのデジタル化であって、DX 化ではないと思います。また、DX や ICT、IOT などの言葉は、難しいと感じる方もいらっしゃるので、避けた方が理解は得やすいのではないかと思います。
事務局	DX と ICT は違うということを我々も議論しており、こういった言葉を使うときは気を付けるようにしています。社会の変革等、大きなところまでデジタルを使って進めていくのが DX だと思っていますので、まずは ICT から始めていきたいと考えています。
B 委員	自治会に対する私の印象は、高齢者が大多数です。そんな自治会には、DX や ICT という言葉より、できるだけわかりやすく平易な言葉で伝えてほしいです。また、ラコルタで自治会の支援をしてもらえるとのことですが、もっと自治会に対して周知していただきたいです。自治基本条例もそうです。DX 等を進めるのも大事だと思いますが、自治会の人を育てる、ベースを作っていくことも大事にしていきたいです。視察のお話を聞いて、一番興味があったのは、なぜ豊川市の自治会加入率が 68%と高いのかということですか。
事務局	吹田市は、流入流出人口が多いのが特徴です。自治会加入率は、分母が世帯数なので単身赴任の方が多いと、加入率が下がります。また、吹田市は人口が増加しているため、さらに分母が大きくなり、加入率は下がっていきます。対して、豊川市は地縁の方が多く、親世代が自治会に入っているから、子の世代もそのまま入っているというような地方都市の特色があるかと思います。
E 委員	単一の自治会で活動されていても、連合自治会から脱退されることが結構増えています。だから、連合に伝えたら全地区に行き渡るということもありません。そもそも自治会に加入されない方は、自治会はわずらわしいと感じておられる。自治会は、たくさんのテーマを持ち過ぎなので、大変なのだと思います。自治会は防災・防犯というテーマに絞って、まつりとかスポーツなどは、好きな人が別で集まってテーマごとに活動するというだけでもよいのでは、と思います。それでも、そういった集まりを束ねる、根っことなるのは自治会だと思います。
B 委員	確かに、あれもこれもしないといけない自治会の役を持たされるのが嫌で、自治会に入らない人もいます。
事務局	若い方にとっての負担軽減という意味では、やはり ICT が一定の効果はあるのでは、と考

	えています。ただ、紙媒体をなくすのではなく、当面は過渡期だと思っておりますので、ICT と紙媒体とのハイブリットで両方を活用することは大切だと思います。
E 委員	正直なところ、そのハイブリットを担う役員も大変です。ICT が苦手な方には、別で連絡をするのですが、漏れてしまったりするので、簡単な ICT を使えるようになっていただければ、そういったこともないと思います。
事務局	現状では、ICT を活用いただけるように、LINE の使い方等のスマホ講座をラコルタはじめ、いろいろな施設で実施しています。
A 委員	自治会には入らないけれども、子供や福祉の分野でなら、一生懸命取り組んでいるという事例は各地区であると思います。吹田市は学生のまちだとも言えるので、学生の方と子育て、高齢者の触れ合いといったマッチングを広げていくことも重要です。また、情報伝達のために有用ならば連合自治会を更に束ねた組織を立ち上げるというのはいかがでしょうか。
E 委員	吹田市は縦に長く、地区によって特徴がかなり違います。例えば、子供が多い地区、減っている地区等さまざまです。そのため、34 地区ひとくくりで発信しても、その情報が刺さる地区と刺さらない地区がテーマによって全然違ってくると思います。このテーマならここが繋がる、別のテーマならばまた別の地区同士が繋がるというように、テーマごとに、隣近所のいくつかの地区が集まって、そこに行政と一緒に入っていただきたいです。
事務局	令和 5 年度は、ネットワークテーブルということで、市長が地域に伺い、連行自治会の方等と意見交換をしました。その際には、いくつかのブロックに分けて、お話をさせていただきました。
E 委員	担当の方は大変かもしれませんが、テーマごとにいろいろな集合体で進めるというように、きめ細やかに進めていただいた方がよいと思います。情報の発信の仕方も、単に自治会に入りましょうというのではなく、近所の常日頃のつながりが大切になる防災に絞って発信していただくといったことがよいのかも知れません。
A 委員	では、他に御意見がないようですので、案件とは別に全体的に御質問、御意見があればお願いします。
C 委員	連合自治会から抜ける自治会が多いとお話でしたが、その主な理由はどういったものがあるのでしょうか。
E 委員	例えば、市民体育祭の場合、加入している連合自治会の方たちが準備等の運営をしていますが、自治会に入ってなくても参加はできます。行事の運営に携わるのはしんどいので、連合自治会から抜けて参加だけでよいのでは、となってくるのではないのでしょうか。
C 委員	よくわかりました。ありがとうございました。
E 委員	自治会アプリの視察に行かれましたが、吹田市での実証実験は考えておられるのでしょうか。
事務局	まずは先進事例を見て、吹田市版をどうしていこうかと検討している段階なので、具体的な進め方もこれから検討となります。
A 委員	いろいろな御意見をありがとうございました。他に御意見がないようなので、次回の開催日程について事務局から説明を受けたいと思います。
事務局	次回の開催日程については、6 月か 7 月頃の開催を予定しております。来年度に入りましてから、日程調整をさせていただきますので、よろしく願いいたします。
委員長	それでは、本日の委員会はこれで閉会いたします。ありがとうございました。

順に、A委員、B委員、C委員・・・と表記しています。